

防災訓練と餅つき大会を地活協全体事業として再構築し、連携して実施しました

地域名	梅香【此花区】
地域活動協議会名	梅香地域活動協議会 (形成時期：平成 25 年 3 月)
地域の概要	人口：約 5200 人 世帯数：約 2700 世帯 (地域の特徴) <ul style="list-style-type: none"> ・此花区内でも有数の古いまち ・交通の便もよく、商店街があり、生活利便性が高く、住み良いまちである ・マンション建設が少なく、高齢化が進行している ・地域内にアトリエやギャラリーなどに空き家や工場跡を活用し活動の場を提供する企業があり、アーティストや音楽家、写真家・デザイナーなど創造的な活動を志す若者が集まるエリアとして注目を集めている
取組内容 (名称)	梅香地域活動協議会 防災訓練&もちつき大会
地域課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な地域団体との具体的な交流。 ・地域団体や地域行事の情報発信や町会の認知度。 ・地域施設 (小学校など) の利用。 ・地域に特化した防災訓練の開催。 ・多様な地域団体の事業連携。 ・防災意識の向上と実践。
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年 12 月 7 日 (日) 9:00~12:30 梅香小学校にて実施。 ・前年度より、同時開催していた防災訓練(防災部会)と餅つき大会(青少年部会)事業を、地活協全体事業として事業内容を地域に特化させた内容で再構築。 ・防災訓練プログラムは、大人向けと子ども向けと別個にし、講演と屋内と野外で実施する体験型の訓練講習を実施。 ・もちつき大会は、防災訓練ともちつき大会の参加者が両方参加出来るようタイムスケジュールを調整し、子ども達を主体とすることでその家族や若い担い手など、地域事業の参加者増加と周知を目指した。 ・イベント形式の事業を利用し、地域防災への意識や知識の向上と自発的取り組みの啓発や経験知を増やす事で地域防災事業を強化。 ・多様な地域団体の交流及び協働事業。(防災・女性会・広報・NPO・企業・PTA などの学校事業団体)
取組成果	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は同時開催ではあるが、防災ともちつき大会とが連携しておらず参加者が入れ替っていた反省点を踏まえた結果、今年度は防災訓練 (9:00~9:30) 大半の参加者が 12:30 の終了時間まで滞在していた。 ・大人と子ども用に講演内容を変えたことにより、各々の防災知識や経験知が身につけやすかった。 ・学校を使用することで、学校や青少年部会と地域が連携する機会を設けられた。 ・工夫を凝らしながら、もちつき大会事業を継承する機会が出来た。 ・子どもを通じた防災訓練の普及。

地域からのメッセージ

- ・プログラムの多くは野外で行われたが、天候に恵まれ心配された寒さも和らぎ実施しやすかった。
- ・子どもが沢山参加してくれたのに、大人の参加数が少なかった。その要因としては、共催による防災訓練のPR不足と、防災に対する関心がまだまだ薄いとも考えられる。
- ・9:00～12:30の実施時間は、短時間で集中できて良かった。
- ・人手を取られていたので、もちつき大会の規模を縮小したり、炊き出し訓練をしても良かったと思う。
- ・段取りが上手くいってなくても、目上の人達に指示や意見をするのは現段階では難しい。
- ・盆踊りのように役割分担の一覧など、事前の段取りや準備を分かり易くする必要がある。

(平成26年6月作成)

有償ボランティア制度によりふれあい喫茶、食事サービスの実施頻度があがっています

地域名	緑地域【鶴見区】
地域活動協議会名	緑・ふれあいの家（緑地域活動協議会） （形成時期：平成 24 年 8 月）
地域の概要	人口：6,222 人 世帯数：2,542 世帯 （地域の特徴） 城東区・旭区と隣接し、小学校区が両区と重なる比較的小規模な地域。地域の敷地の多くを宗教法人が占めている。企業立地も多い。
取組内容（名称）	有償ボランティア制度
地域課題等	居住者の高齢化が進む中、地域で必要とされる事業を継続していくためには、従来にはない取組み手法が必要であるとの共通認識がある。
取組概要	<p>区内でいち早く地活協のNPO化を行い、担い手確保のために、独自の有償ボランティア制度を導入している。平成 25 年度から本格的に有償ボランティアの会が立ち上げられ、ふれあい喫茶、食事サービスの担い手、「児童いきいき放課後事業」でのイベントのお手伝いなどで、その制度を活用した取組みがなされた。</p> <p>26 年度は、有償ボランティアに支給する謝礼の原資確保と作業量のバランスを検討しながらの取組みとなっている。また、個人で謝礼を受領するのではなく、団体の活動費として支給してほしいとの要望もあり、仕組みの検討も並行して行われている。</p> <p>また、助け合い活動への有償ボランティアの仕組みも検討している。</p>
取組成果	ふれあい喫茶、食事サービスを週 1 回の頻度にあげている。
地域からのメッセージ	現在実施しているNPO 事業で、どれだけの人がどれぐらいの作業をしているか、その量の把握が十分にできていないため、今年度はその調査も行う。

（平成 26 年 6 月作成）

若手、企業・NPOを中心に多様な団体が一つになってまつりを開催し、世代間での繋がりが深まりました

地域名	梅香【此花区】
地域活動協議会名	梅香地域活動協議会 (形成時期：平成 25 年 3 月)
地域の概要	人口：約 5,200 人 世帯数：約 2,700 世帯 (地域の特徴) <ul style="list-style-type: none"> ・此花区内でも有数の古いまち ・通の便もよく、商店街があり、生活利便性が高く、住み良いまちである ・マンション建設が少なく、高齢化が進行している ・地域内にアトリエやギャラリーなどに空き家や工場跡を活用し活動の場を提供する企業があり、アーティストや音楽家、写真家・デザイナーなど創造的な活動を志す若者が集まるエリアとして注目を集めている
取組内容 (名称)	梅香さくらまつり
地域課題等	
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な地域団体との具体的な交流。 ・地域団体や地域行事の情報開示や町会の認知度。 ・地域施設（憩の家や集会所）の利用情報の提示。 	
取組概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年 4 月 6 日（日）11：00～15：00 梅香東公園にて実施 ・前年度はふれあい喫茶による出店のみであったが、地活協設立により多様な団体が協働して実施するイベントに規模を拡大し地域活性化と人材育成を目的に実施。 ・祭りの項目内容に、梅香地域ならではのイベントを盛り込んだ「梅干しの種飛ばし大会」を考案。 ・地活協構成団体の出店ブースだけでなく、地域にある飲食店も含めた出店ブースの参加。 ・構成団体である「生涯学習ルーム」「住吉神社地車会」と校区「春日出中学校」が共演したプログラムを実施。 ・子育てサロンによる一時保育の実施。 ・公園愛護会・緑化事業より「美化活動クリーンアップ」の報告・啓発ブースの実施。 	
取組成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・地活協の若手メンバーと企業・NPOが企画委員の中心を担っており、運営委員会では斬新なプログラムも提案され多様な団体が一つとなって事業に取り組む機運が高まってきていると同時に地活協メンバーの世代間での繋がりが深まってきている。 ・若い担い手が主体となって進行を行うことにより、プログラムの活性や若年層の参加者が増えた。 ・盆踊り以外に、地域に特化した独自の新規事業が作れた。 ・事業の企画会議にあわせて運営委員会が頻繁に行われたことにより、経費等の事務関係について共有することができ組織の自立にも繋がった。 	
地域からのメッセージ	
<ul style="list-style-type: none"> ・天候が悪かったが、老若男女参加し世代間交流ができて良かった。 ・今回を参考に、プログラムとプログラム間の休憩時間をスムーズに行えるように調整したい。 ・テントが必要なブースがあった。 ・決算を終えて、飲食ブースは食券ではなく現金処理をした方が良かった。 ・「さくらまつり」に参加していない他地域からの花見客による公園でのバーベキューについて調整ができていない。一般参加者に対応した策を用意していなかった。 	

(平成 26 年 6 月作成)

マンション管理組合を含む各種団体が協働した防災訓練で連携が深まりました

地域名	江戸堀地域【西区】
地域活動協議会名	江戸堀地域活動協議会 (形成時期：平成 25 年 3 月)
地域の概要	人口：8,442 人 世帯数：5,116 世帯 (地域の特徴) 近年、マンションが多く建設され、世帯構成に変化が生じてきている。
取組内容 (名称)	防災訓練 避難所開設
地域課題等	
以前は連合振興町会を中心に避難訓練を行っていたが、災害避難時には、地域居住者等すべての人が避難対象となるため、より多くの幅広い人が参加できる避難訓練の実施が望まれた。	
取組概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の避難所である中学校を使った避難所開設の訓練を実施 ・6月(予備訓練)と11月(本訓練)の2回実施(予備訓練は、本訓練に向けた研修的位置づけ) ・地域の実績として、積みあがる形の訓練にするため2回構成 ・地域全体に呼びかけることで、より実践に近い形で実施 ・地域各種団体の役員等を中心に、避難所での役割分担の整理等することで、地域自主防災の基盤づくりを推進 ・防災訓練を通じた地域のつながりづくり 	
取組成果	
連合振興町会を中心に行っていた訓練を、地域活動協議会が主催したことで、地域内で増加するマンション管理組合を含む地域の各種団体が協働して取り組むことができた。この取り組みにより地域自主防災への基盤づくりに成果がでた。また、これまで交流のなかった地域内の各種団体間で連携が深まり、地域のつながりづくりという点でも効果が得られた。	
地域からのメッセージ	
防災に関する知識の向上もさることながら、どこに誰が住んでいるのか、その把握さえ出来ておれば、いざという時にも対応できると考えられる。防災訓練への参加も大切だが、地域住民の間に顔見知りを増やす事が大切だと言える。	

(平成26年6月作成)

子ども会中心の行事「子どもまつり」をパワーアップ！地域全体の代表行事に！多様な協働生まれる

地域名	敷津浦【住之江区】
地域活動協議会名	敷津浦地域活動協議会 (形成時期：平成 25 年 3 月)
地域の概要	人口： 10,210 人 世帯数： 4,238 世帯 (地域の特徴) 住之江区の南東部にあり、東は十三間堀川を境とし、南は大和川に接した地域。町会主体の歴史古い地域で校区内の敷津浦小学校も歴史古い小学校。各種団体それぞれの活動は活発だが、横のつながりが課題。
取組内容 (名称)	「地域の未来像を語り合う懇談会」の開催で、地域課題の共有、対策立案。
地域課題等	
ワークショップで 200 を超える意見…意見の多かったカテゴリーとして①子ども・子育て②防災③コミュニケーション④高齢者⑤環境 懇談会を重ね、キーワードを導き出し、「若者の活動への巻き込み、ちょっとボランティア体験、自主財源の確保」「コミュニケーション、昔ながらのつながりづくり」から事業計画を策定。	
取組概要	
①しきつうらまつり 子ども会中心の行事「子どもまつり」をパワーアップ！地域全体の代表行事に！多様な協働が生まれる。 ②避難所開設マニュアル作成と訓練 昨年 9 月の避難勧告を教訓に避難所の開設と運営ができるよう、初動についてマニュアル化。 ③昔ながらのつながりづくり ‘向こう三軒両隣’ のコミュニケーションで孤独死防止 回覧板を活かしたつながりづくり、要支援者マップ作成の検討	
取組成果	
①しきつうらまつり ビフォー:子ども会中心の行事。模擬店・ゲームコーナー・バザーなど中心に開催。 アフター:地域全部を巻き込んだイベントとして 5/18 に開催。地域の福祉施設、NPO、人形劇団、町会ははじめ地活協の構成団体がすべて参加したイベントに。新しい取組みとしてスタンプラリーを開催、まち案内ボランティアや大学生ボランティアも参加・協力、企業も加わり、平年の 2 倍の参加者が集った大盛況イベントになりました。 ②ビフォー:防災リーダーのみで活動、訓練の見直し等の話合いの場がなかった。 アフター:懇談会の開催を重ね、実行委員会が立ち上がり、マニュアルのたたき台が完成。実行委員メンバーで協議をすすめていっている。 ③昔ながらのつながりづくり ビフォー:ネットワーク推進員さんの見守り・声掛け活動、高齢者調査等 アフター:「一声をかけて回そう回覧板」のラミネート用紙と趣旨説明の用紙を各町会へ配布・実施 身近なところからのつながりづくりを実施。要支援者マップ作成は、各町会毎のマップに色塗り、防災とも連携してすすめていく。	
地域からのメッセージ	
引き続き、地域の支援をお願いしたい。	

(平成 26 年 6 月作成)